

今回の減額額と国からの減額額の間に  
余裕金が生じた場合には、当該余裕金  
を削減対象となった職員に臨時的に支  
給します。

(北野正剛「給与の支給基準の改定の実施に当た  
って」学内イントラ 2012年4月27日)

## 組合の視点

学長は自分が述べた

# 約束を守って

責任ある行動をとって下さい。

ひとりでも多くの加入が必要です

## 大分大学教職員組合

ただいま新規組合員ワンコインキャンペーン実施中！  
今なら組合費が、常勤職員 500 円/月、非常勤職員 100 円/月

TEL・FAX: 097-554-7998 E-Mail: oitauu@fat.coara.or.jp

2013年2月1日発行

# 大分大学の論点

## あなたの知らない給与減額の話

大分大学は  
私達の給与を  
必要以上に削減  
していました

**理由**  
はこれだ

返還額を上回る給与削減を行っていました。

論点 大学が見込額を誤り、実額を上回りました

**問題**  
はこれだ

差額が物件費に流用されようとしています。

論点 差額を返す約束を大学は破ろうとしています

A. 給与削減によって生じる人件費の見込額:8億8千万

——大分大学の第1次補正後の平成24年度予算額における調整費(予備費)の金額のこと。正確には8億7900万円。大学は5月以降、給与削減を実施し、その影響額を留保した。その留保総額がこの8億8千万である。予算書上では「調整費(予備費)」という項目に計上している。

B. 文科省へ返還する実額:6億6千万

——正確には6億6281万5千円。この金額が文科省法人支援課から2013年1月15日に通知された。

C. 文科省に返還する必要のない差額:2億2千万

——正確には2億1618万5千円。A-Bのことである。この内訳は、給与削減によって生じた賃金部分と、給与削減に伴って大学が支払う必要なくなった法定福利費の合計の人件費である。大学は2012年4月の教職員への説明会で、取りすぎた給与と、支払う必要なくなった法定福利費とは教職員に返還すると明言していた。

A. 給与削減によって生じる人件費の見込額  
8億8千万

B. 文科省へ返還する実額  
6億6千万

6億6千万

C. 文科省に返還する必要のない差額  
2億2千万

2億2千万

D. 病院等の  
人件費への  
組替額  
1億1千万

1億1千万

E. 物件費への  
組替額  
1億1千万

1億1千万

D. 病院等の人件費への組替額:1億1千万

——正確には1億891万5千円。大分大学の第2次補正予算によれば、そのほぼ8割の8705万5千円が病院分の人件費相当額に組み替えられる。なお、残りの2割は給与削減された教職員の手元に返還されるわけではない。

E. 物件費への組替額:1億1千万

——正確には1億727万5千円。内訳は、削減された給与のうち文科省へ返還する必要がなくなった金額(5月以降の給与削減見込額から文科省への返還額を差し引いた額)と、給与削減に伴って大学が支払う必要なくなった法定福利費である。

差額を返す約束

——学長はたびたび、文科省に返還する必要のない余裕金を教職員に返すことを宣言していた。

「今回の減額額と国からの減額額の間には余裕金が生じた場合には、当該余裕金を削減対象となった職員に臨時的に支給します」(「給与の支給基準の改定の実施に当たって」学内イントラ2012年4月27日)

このままでは1億1千万ものお金が物件費に組み替えられてしまいます